

各事業報告：平成24年6月～12月の報告

1. 相談支援事業

昨年度より引き続き島田市、川根本町より委託を受け相談支援事業を実施してきました。島田市については市役所を拠点とした相談窓口へ1名の相談支援専門員が常駐となり、市と連携をとりながら行ってきました。

また、今年度は制度改正により相談支援事業の枠組みが大きく変更となり、この1年はその体制についての検討に多くの時間が費やされた年となりました。

つまり、従来の委託としての一般相談に加え、新たに給付サービスを利用される方々に対するサービス利用計画立案と平成23年度まで実施されてきた精神障害者地域移行支援事業が個別給付化され、地域相談として位置づけられたことです。

前者については島田市と定期的に協議しながら25年度から本格的にスタートしていくこととなります。後者は昨年度までの事業の事務局を受託してきた関係で継続的に地域移行にかかわる相談を実施してきましたが、制度設計そのものに課題を感じながら来年度をどのように展開していくかの十分な検討の必要性を感じています。

しかしながら、相談支援は私達の実践活動における肝です。これが十分機能できる体制を構築し、より質の高い支援が展開できることを目指して行きたいと思っています。(菅原小夜子) ここでは次の相談支援を行っています。

種 類	内 容
1. 一般相談(島田市・川根本町) (障害者相談支援事業)	障害のある人の福祉に関する様々な問題について、相談に応じ、必要な情報の提供、障害福祉サービスの利用支援等を行うもの。
2. 計画相談支援 (指定(島田市)特定相談事業者)	サービス等の相談及び作成などの支援が必要と認められる場合に、障害者の自立した生活を支え、障害者の抱える課題の解決や適切なサービス利用に向けて、ケアマネジメントによりきめ細かく支援するもの。
3-1 地域相談支援(地域移行) (指定(静岡県)一般相談事業者)	入所施設や精神科病院等からの退所・退院にあたって支援を要する者に対し、入所施設や精神科病院等における地域移行の取組と連携しつつ、地域移行に向けた支援を行うもの。
3-2 地域相談支援(地域定着) (指定(静岡県)一般相談事業者)	入所施設や精神科病院から退所・退院した者、家族との同居から一人暮らしに移行した者、地域生活が不安定な者等に対し、地域生活を継続していくための支援を行うもの。
4. こころの相談	こころ利用登録者の相談を行なっています。

2. 地域活動支援センター事業

1)ハートケアセンターこころ(島田市補助事業):基礎事業+機能強化I型

4月以降登録数は増えて来ている一方利用者数は横ばいの状況です。そこで全体ミーティング(定例のこころを語ろう会)で利用者を増やすための活動を利用者も行うことにしました。アポイントの取り方、先方との話の仕方、ハートケアセンターこころのセールスポイントなどをSST方式で練習し利用者2名が福祉課に出向きました。成果は直ぐにでなくてもこのような利用者主体の活動を継続していくことを大切にしたいと思います。また「いいことすればいいんだよ」を合言葉に「こむぎ(就労継続支援B型事業)」と合同で夢づくり会館バス停廻りの清掃を始めました。



こころを語ろう会



バス停の清掃

さらにペットボトルキャップと缶のプルタブ集めを行っています。なお、この活動については3月の「2013 ころと福祉のセミナー」で発表する予定です。（渡邊里佳）

【-o-x-mo】SST とはSocial Skills Trainingの頭文字をとっており、「生活技能訓練」と訳されています。



餃子パーティー



スポーツ交流会参加

2) 地域活動支援センターはぐるま（牧之原市補助事業）：基礎事業

今年度より当法人において運営をすることとなった「地域活動支援センターはぐるま」は、共同作業所として運営されてきた歴史が長く、その頃からの利用者の方々も多く通所されていることとも重なり、本来の地域活動支援センターとしての機能が充分発揮されていない状況がありました。そこで、利用者の方々とは何度も話し合い、「仕事を中心とする場でないこと」「自分の生活のペースや目的に合わせて自由に利用できること」「スタッフが枠組みをつくるのではなく、みんなで一緒にこの場を作り上げていくこと」等々を確認し合いながら、少しずつ“私たちのはぐるま”をつくり始めています。

最初の頃は、みな戸惑いも多く、時に不満も出てきたこともありましたが、そこも話し合いをもちながら新しい一歩を少しずつ踏み出しています。

一方、利用者数は毎日10名程度にとどまり、まだまだ潜在的に地域の中に埋もれている方が存在するのではないかと推測します。今後は、市や相談支援事業所、医療機関等とより連携を深め、必要な方々へのサービス提供が出来るよう、さらに積極的に取り組んでいきたいと思えます。

（菅原小夜子）



はぐるまを語ろう会



ふれあい広場での販売



はぐるま入口の草取り

3. 就労支援事業

1) りなむ（就労移行支援事業・就労継続B型事業）

パン製造販売、喫茶店、施設外の作業、軽作業を毎日こなす中で、時間通りに準備し行動に移すこと、嫌な仕事でも継続してやり通すこと、人とのコミュニケーションの取り方、社会人としてのマナーなどを学んできました。

また、事業所や地域の行事に積極的に参加し、日頃の頑張りの成果や自主製品を広くみなさんに知っていただく機会を持ちました。

事業所の大きな軌跡としての一つ目は、一人は就労へ、一人は就労を前提とした訓練につながったことです。それにはそれぞれの支援計画に基づいた実習に行き成長したところや足りないところを知るという経験が大きかったと思えます。

二つ目は、おびりあ内こども館に新しく「カフェ・きいちご」を開店し、更に広い範囲の方々に「りなむ」のことを知っていただけるようになったことです。

三つ目はお客様の心を引き付けるような自主製品をと始めた化粧石けんのうち、「みかんはちみつ石けん」がオールしずおかベストコミュニティ理事長賞をいただいたことです。どれも利用者さん、支援するスタッフにとって大きな喜びと励みになりました。「働く」こと目的は、「お金を得るため」であることはもちろんですが、「自分の大切な時間が社会において何等かの役割を果たしていること」でもあり、これからも毎日が生き生きと過ごせる「りなむ」でありたいと思えます。

（柳川久子）



りなむの花



SLフェスタ参加



「カフェ・きいちご」



みかんはちみつ石けん

2)こむぎ (就労継続B型事業)

現在、21名の登録です。平成24年度の目標「安定した仕事量の確保と工賃アップ」に向けて日々取り組んでいます。大葉の束ね作業等の新しい仕事も手際よく行えるようになり定着してきました。11月には「こむぎをもっとよりよく利用するために」というテーマでグループディスカッションを行いました。利用者からいろいろな意見提案が出され 次回は「工賃アップするには」をテーマに話し合うことにしました。「就職したい」、「毎日通うというリズムをつけたい」、「作業だけでなくコミュニケーション能力も学びたい」など利用者ひとり一人の目標や希望に沿った支援を心がけ年度目標達成に向けて活動していきたいと思います。(渡邊里佳)

「就職したい」、「毎日通うというリズムをつけたい」、「作業だけでなくコミュニケーション能力も学びたい」など利用者ひとり一人の目標や希望に沿った支援を心がけ年度目標達成に向けて活動していきたいと思います。(渡邊里佳)



大葉の束ね



花火の袋詰め

3)さがら作業所 (就労継続B型事業)

こころの事業所として新たにスタートして、初めての新年を迎えました。振り返ると、この9カ月の間に大きく変わったわけではなく、それぞれの実践を尊重しあいながら、こころの理念に向かって活動してきました。なかでも利用者が実行委員となって主体的に作り上げて行く法人全体の行事は、とてもよい経験となっています。交流を持つことにより、利用者も職員も今までの自分の仕事や生活に対する考え方を、振り返る機会になり良い刺激を受けていると感じています。年末のお餅つき大会を振り返った利用者から、「島はいいな、場所が広くて、さがらも広ければ地域の人を呼んでいろいろやりたい。」という意見がありました。こころの活動を通して、地域で生きている自分を再認識した言葉でもあると思います。この言葉を近い将来実現できるように、大きな目標に向かって頑張ろう!という力が湧いています。それには、日々の一つ一つの活動を大切にしながら一歩ずつと思っています。(高塚むつ代)



菅山区のふるさと祭出店



高速道路下の草刈

こころの自主製品と喫茶店

こころでは就労系の事業所で次の製品を製造しています。ご検討の上ご購入いただくと有難いです。商品の詳細は各事業所に問い合わせるかホームページをご覧ください。

りなむ	化粧石けん		「化粧品製造販売業」と「化粧品製造業」の許可証を取得したこころ独自の手作り化粧石けんです。みかんはちみつ石けんが、平成24年静岡県授産製品コンクールにおいて「オールしずおかベストコミュニティ理事長賞」を受賞しました。
	その他		・ベーカリー・うえるでのパン・ラスクの製造販売 ・カフェ・みれっと(金谷)とカフェ・きいちご(島田)の運営
こむぎ	ソック モンキー		ソックスで作った真っ赤な口と真っ赤なお尻の、愛嬌たっぷりモンキーのお人形です。荒く編んだ茶色い実用ソックスの手触りが、懐かしさと一緒によみがえります。
	その他		ウッドピンチ、乾燥系こんにゃく、アイピロー、トイレトペーパー
さがら 作業所	焼き菓子		利用者手作りのお菓子です。「おからと胡麻のチュイール」が、平成22年度静岡県授産製品コンクールにて「静岡県社会福祉協議会会長賞」を受賞しました。
	その他		乾燥系こんにゃく、軒花、喫茶ル・ヴェール(牧之原市)の運営

平成24年6月～12月のイベント報告

1) 地域ふれあいイベント第8回夏祭り

8月25日に夏祭りを開催しました。牧之原市の「さがら作業所」と「地域活動支援センターはぐるま」の2事業所が初めて参加し、約250名の参加者となる賑やかなイベントになりました。利用者と職員で構成された実行委員会でイベントの構成、チラシの内容・配付方法、当日の時間割、会場レイアウト作りなどのミーティングを重ね運営は利用者1人1人が中心になれるよう進めました。当日は、作品展示、ステージ発表、事業所紹介、模擬店、イベントなどを通じ利用者が笑顔で楽しんでいる姿をあちこちで見ることができました。

また、地域の皆さんにもこころの活動や雰囲気はどういったものかを伝えることができたように感じました。



実行委員会



似顔絵コーナー



歌おうクラブの合唱

2) 事業所交流会

11月2日に当法人の5事業所が牧之原市の地頭方体育館に集まり交流会を開催しました。

利用者と職員合わせて70名を5グループに分け、3種目のゲームをチーム対抗戦で行い、みな真剣にゲームに参加し応援をしていました。グループ分けをしたことにより、今年4月に牧之原市の2事業所と島田市の3事業所が一緒になったので初対面で緊張をしている方もいましたが、会話も弾み全体的に暖かい雰囲気でした。

最後のジャンケン大会にもチーム得点加算があった為、更に盛り上り、利用者間での仲間作りができた交流会となりました。



皆で風食



たこつぼゲーム

3) 2012 こころと福祉のセミナー

11月28日に静岡県地域自殺対策緊急強化基金事業の補助を受け「大切な命を守るために～ゲートキーパーの役割～」の題目で「2012 こころと福祉のセミナー」を島田市夢づくり会館で開催しました。近隣住民等70名の方が来場され熱心に講師（当法人施設長）の自殺防止をするための話を聞いていただきました。



【-ロメモ】

ゲートキーパーとは、悩んでいる人に気づき、声をかけ、話を聞いて、必要な支援につなげ、見守る人のことです。

4) 地域ふれあいもちつき大会

12月15日にハートケアセンターこころで開催しました。あいにくの雨となりもちつきも屋外の狭いテント内で行い、来場の子どもさんと利用者らが代わる代わるきねを振るい、周囲も「ヨイショ、ヨイショ」の掛け声で盛り上げていました。つきたてのお餅は、あんころ餅・きな粉餅・大根おろしの餅などにして豚汁と一緒に利用者・来場者に食べていただきました。



もちつき

また、会場では焼き菓子・パン・化粧石けんなどの自主製品販売、風船ダーツ・輪投げなどのゲーム、利用者による思考を凝らした事業所紹介、利用者・職員のカラオケ、ギター演奏などを行い楽しい一日となりました。



風船ダーツゲーム



事業所紹介

25年1月～5月の主なイベント予定

- 1) 2013 ころと福祉のセミナー（詳細は後日 ホームページ、チラシ等で御案内）
日時：3月23日（土）午後 、場所：夢づくり会館を予定（島田市島）
内容：一部 当事者の発表会
二部 障害者理解・啓発講演 講師：高森信子氏（コンボ理事・SSTリーダー）
- 2) 平成25年度総会：5月第3土曜日予定

ご寄付ありがとうございました。平成24年6月～12月分 順不同・敬称略

大崎初枝	加藤喜美子	JAハイナン	波津第一ブロック
稲葉桃子	小林克実	佐々木敏明	地頭方地友会
田島勝正	鈴木康允	八木博敬	管山区(出店お礼)
泰善寺	木村啓子	阿部虎之助	歌謡ユニオン
今野朝子	菅沼英樹	八木安男	マルハン島田店従業員一同
亀山トシ枝	紅林俊彦	林勝郎	島田法人会青年部
田平鉄工	シミック	鈴木得次商店	牧之原市老人クラブ相良支部
大塚昭代	寺尾清		

賛助金ありがとうございました。平成24年6月～12月分 順不同・敬称略

中島義夫	(有)児玉産業	(有)五島不動産	あかりディサービス宮川
近藤容子	桜井資源(株)	シミックCMO(株)	S. T. P会代表酒井勝
平岡良江	鈴木ヨシ江	(株)大石時計店	たぐちクリニック
山本 勇	(有)竹内工務店	(株)沖金物店	エースクリーニング(株)
森下美子	(株)塚本工務店	アクトホーム(株)	静岡市支援センターなごやか
高桑義雄	小田部雄次	(株)寺田製作所	沼津熔銅(株)金谷工場
後藤俊一	三浦なつ子	(株)増商	
鷲山睦美	長坂和則	仲田モータース	

寄付と外注作業紹介のお願い

- 1) 石鹸、洗剤、タオルなどの日用消耗品と調味料・食材の寄付
- 2) 夏祭り・もちつき大会のバザーで販売する品物の寄付
- 3) 就労継続支援B型事業は安定して継続できる仕事をご紹介ください。
・草取り作業、袋つめ作業、シール貼り作業、部品組立てなどの軽作業
- 4) アルミ缶・古紙（ダンボール、新聞紙、雑誌、雑紙）の回収

賛助会員募集！！

特定非営利活動法人 ころは、島田市と牧之原市に5事業所を展開し、『個の尊厳』、『人権の擁護』、『自己決定の尊重』の精神を大切に、障害者福祉活動に取り組んでいます。

ご支援のほど宜しくお願い申し上げます。

詳細は電話(0547-46-5561：担当 岡野)にてお問合せください。